市民力かわら版

第５号
平成２０年５月１５日
編集/市民力かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書政策室
電　話：0287-43-3764
ファクス:0287-43-2292
Ｅメール：
yaita@city.yaita.tochigi.jp

ツツジの郷 矢板の花めぐり 長峰公園・八方高原へ行こう！

連休の長峰公園は多くの人でにぎわっていました。今年から大型バスの駐車スペースが用意され、市外県外の方もたくさん訪れるようになっています。流行のミステリーツアーで訪れていた方々は、なんと山形県から。「きれいな公園ですね」「たくさんの種類のツツジが見られていいですね」と述べられて園内を散策していかれました。休日を広々とした公園で遊ぶ家族連れが多く見られ、中にはお弁当を広げ春ののんびりした時間を満喫している人もいました。遠くへ出かけなくとも、市内にはたくさんの春を楽しめる場所があるはずです。これから新緑もまぶしい季節になります。「歩いて出かける」エコな休日の過ごし方をしてはいかがでしょうか。いつもの散歩を延長をしてみるのもその一つです。「今日はちょっと遠くまで行ってみよう」今まで気付かなかった素晴らしい風景に出会えるチャンスかもしれません。

五月に入り、高原山がツツジで彩られる季節となりました。これから八方ヶ原を訪れる人も多くなります。毎年「山の駅たかはら」主催でアカヤシオ・シロヤシオツツジ散策ハイキングが行われています。送迎バスも運行され、多くの方がハイキングを楽しめる機会となっています。矢板岳友会の方たちの協力もあって、山に不慣れな方も安心して高原のツツジの魅力を満喫できるそうです。

矢板岳友会の協力は四年ほど前から。シロヤシオツツジを観るハイキング&登山では、大間々・八海山神社・剣ケ峰・大入道・小間々を巡ります。高原の魅力を知りつくしたみなさんがガイドをしてくださいます。会員は現在三十名程、そのうち約十名の方が毎年ボランティアとしてガイドをしてくださっています。冬はスノーシューハイキングも開催され、一年を通して高原山の魅力を多くの人に広めたいと活動されています。このハイキングをきっかけに会に入られた方もいるそうです。前会長さんにお話を伺いましたが「もっと多くの人にツツジを見に行ってもらいたい」「週末のバス運行などが実現すれば、車などの交通手段の無いお年寄りにも見せてあげられるのになあ」と矢板の自慢のツツジに彩られた高原の魅力を広めたいというお気持ちを語ってくださいました。

④

① 青空コース　ゴヨウツツジ

② やしおコース　ゴヨウツツジ

③

④の写真は小間々に咲くトウゴクミツバツツジ。「小間々の女王」と呼ばれたこの姿で知られていますが、今ではネーミングになってしまいました。（仲島記者）

「矢板の四季」コンテストに出品した時の私のタイトルが「矢板の四季を毎年楽しませてくれる人」